

4月のお子さんは涙とともに

いよいよ新しい園生活が始まりました。少しずつ園の生活が分かり、先生にも慣れ友達存在にも気が付いてきたと思います。

本園では4月は年少さんの写真を毎日UPさせていただき、おうちの方にお子さんがどんな遊びをしているのかな、みんなと一緒にやっているかなど園やお子さんの様子を楽しんでいただいていると思います。

特に泣いて登園されるお子さんは心配ですね。ですが、決して一日中泣き通してはいないと思います。

しかし、バスや門でお家の方と別れ際に大泣きされ、幼稚園や保育園に行かせたいけれど後ろ髪を引かれ複雑な気持ちのお母さんも多いと思います。

そんな気持ちのあるお母さんが教えてくださったお話です。

門の前で毎日お子さんに泣かれたんだん不安になり、お母さんも精神的に落ち込んでいったそうですが、ある先生が「お母さんが大好きですね。いつまで泣いてくれますかね？」の逆とも思われる発想の一言でとても楽になられたそうです。

また年少でよく泣いていたお子さんAちゃんのお話です。

年長になったばかりのAちゃんが入園した年少さんのお世話を始めました。

どうして遊ばずに年少さんのお世話をしているのか聞くと「年少の時はよく泣いていて、年長のお兄さんやお姉さんに慰められ遊んでもらったことがうれしかったから」と笑顔で答えてくれました。

年長に上がった子どもたちにとっても年少さんの存在はお兄さんやお姉さんにさせてもらう存在なんですね。

泣かれるお子さんにもいろいろあります。

入園から泣かれていたお子さんが少しずつ落ち着いて泣かなくなるケースや、初めは元気に園生活を楽しんでいたお子さんがだんだんおうちの人がないことに気づき泣き始めるケースなど様々です。

園の先生たちは一人一人に寄り添って、お子さんのペースで“園生活は楽しい”ということを感じていってほしいと思っています。

今を大切におうちの方も一緒に子育てを楽しんでください。